

としているが……

【問】私の耕作している田の

三米ばかり崖下に甲の畑があります。崖の傾斜は相当急で、傾斜面には木はなく草が生えています。崖は砂石をふくむ崩れやすい土質です。最近甲が傾斜面を少しづづけずつて畑の面積を拡めるため、崖が崩れるのではないかと心配です。甲に話したところ、自分の土地をどのように使つても勝手でないかといいます。何かいい解決方法はないでしょ

【答】 隣りの樹木が倒れそうになつたり、崖がくずれそうになつてゐるなど、占有者がそのうか。

成長が早くしかも肥料木にもなるなど多くの利点をもち、東北地方では農家林業にふさわしい木として林業界の注目を浴びてきたコバノヤマハンノキ（俗林ゴバノハンノキまたはコバハン）が近く本村にお目見得することになつた。

本村では利用度の低い原野を多くかゝえている現状から、このコバノヤマハンノキを植栽して生産性の向上をはかるうと、玉米財産区が村長の要請にもとづいて青森県新郷村戸来森林組合に苗木二万本を発注、雪消え早早、希望部落に無償配布（各三〇〇本、一〇アール分）して採草地に試験的に植栽してみようということになつたものである

一コバハンの特長

地味が肥沃になる

肥料木のため空气中から窒素をとつて根にコンリュウ菌がつくので土地をよく肥やす。また落葉は肥料分をもつており腐り方も早いので葉も土地を肥やす。

土地を嫌わない

杉の適地は申分ないが、松やナラの生えるやせた土地でもかまわない。たゞ湿地はよく育たないが、採草地のほとんどは適地となる。

成長が早く、太る

生長は桐について早く15年ぐらいで伐採できる。20年を越すと太りが衰えるので、15~20年が伐期である。

収入が多く将来性がある

用途は箱材とパルプ、パルプはますます需要が伸びるので将来性は十分ある。価格は現在の薪炭材の4倍ほどになっている。

伐採後について

伐採後は根（伏り株）から分根しない。伐採後は無肥料で畑作にも牧草地にも容易に転換できる。

以上が大きく注目される点で、青森県などでは早くから畠地転換のためこれを計画栽培している。



農家の木 "コバハン"

近く本村にお目見得

なお宿部落では県の展示林として二五アール クヌギと の混植二五アール をそれぞれ 植栽することに

なつて いる。
【写真はコバノヤマハンノキ、
玉米財産区の人たちが青森県新
郷村を視察したとき撮影した
もので すでに伐期にきて いる】

うちから村長が任命し、任期は二年となつてゐる。

八九九万九〇〇〇円
▽東由利村火災予防条例の制定
▽同公有林野の造成管理に関する条例の制定

(1面より続く)

35年度最後の追加予算

▽玉米財産区有財産の処分

予防法が適用されることになつたが、発生予防についての予防接種は、予防接種法を改正する必要があるのでその法改正までの間、暫定的に各市町村は条例を議決してこれを行うというものである。

占有権を妨害されるおそれがあるときは、あなたの占有権を保全するため、樹木に支柱したり土砂の崩壊に対する予防工事をするなどの予防措置を講ずること、また、その原因が相手方の行為による場合はその行為をしないことの請求ができます。相

ても崖がくずれる客観的可能性があると考えられるときは、石垣をつくるなど崖の崩壊に対する予防工事をすること、または崖の崩壊の原因になるような行為をしないことを請求することができます。この場合、その費用は相手方甲が負担することになります。

予防法が適用されることになったが、発生予防についての予防接種は、予防接種法を改正する必要があるのでその法改正までの間、暫定的に各市町村は条例を議決してこれをを行うというものである。

産業・教育・道路を3大柱に 生活向上のため村民の頭脳を総動員



三月十六日、村議会定例会において阿部村長は予算審議に先立ち本年度は産業・教育・道路に重点を置いた積極予算としてあります。大要次のような施政方針について説明を行つた。

村長施政要旨

昨年の十一月発表された「国民所得倍増計画」によると十年後の日本産業の構造が大きく変わり農村人口は大巾の減少をきたす。また国民の食生活も変り、米の需用が減つて米の過剰生産が逆に心配されるようになつたことは私どもの想像もつかなかつたことである。このため農業経営は根本的な体质改善が要求され近代的経営が行われなければなりません。

十年後の理想的な生活と適性をもつた農業経営はどうあるべきか、またこれが商工業者の生活にどう響くか、このような諸問題をひつ下げて予算編成にあた

ります。また国民の食生活も変り、米の需用が減つて米の過剰生産が逆に心配されるようになつたことは私どもの想像もつかなかつたことである。このため農業経営は根本的な体质改善が要求され近代的経営が行われなければな

りません。

第二点として後進性をもつている本村の振興のため産業・教育・道路を三大柱としたこと

第三点として国や県の動向、日本産業構造の転換とにらみ合せて村の特質性、自然条件を積極的にとり入れて活用をはかつたこと

つたのであります。

本年度予算の編成方針は

第一点として「收支のバランスのとれた健全財政」という骨子は絶対に崩さないこと

第二点として後進性をもつて

いる本村の振興のため産業・教

育・道路を三大柱としたこと

がしてあらゆる困難な問題と正面から対決し

出場義務制など強化

案して男五十五歳、女四十五歳を内規的に取扱い、勧奨する考えであります。

防

消

團幹部とも内部運営について語りあいました。

が、現在の経費で最大の効果を上げること、非常時態の完全実施にともない「拠出制度」が施行されることになるので、雇人一人を入れたいと考えてその経費を計上いたしました。

役場職員の停年制について一寸ふれてみないと存じます。

停年制は法の上では認められておりませんが、四団の状況を勘

道路は生活の生命線 限度ある財源のなかで重点的に増額

明報つき生きかわろう

つぎは土木費であります。

木

道路、橋梁の整備は村

づくりの基本的なもの

であり、生活の生命線ともい

うべきものであります。村の産業

教育、文化、経済を左右する大

問題でもありますので、限りあり

る財源からも重点的に増額いた

しました。

道路の補修、砂利には相当額を

みであります。橋梁整備にも力

を入れております。

明報つき生きかわろう

とする基幹線

国県道の問題ではありますが、村

の真中を通る国道二級線は昨年

度の継続事業として烟村・舟木

〇〇万円の路面改良工事の予算

がつきました。

新規事業としては大琴地区の舗

装工事一〇〇〇万円（これには

工事費の五分の負担金を必要と

します）の予算がつく運びにな

つております。さらに宿宇根城

坂の改良工事に九〇〇万円の予

算がつきました。

高瀬川橋工事には本年度四〇〇

万円の増額、また岩館へ通ずる

サイホン工事一〇〇万円がもら

れています。

④官行造林の収入分は議員諸氏

の要望はみのり、予期した収入

財源となりました。

⑤学校建築及び造林事業のため

村債を見込んでおります。

歳入について申上げま

す。

①民税は昨年度の作況

及び給与所得を勘案し

て算定しました。

②固定資産税は三十六年度の県

の指示価格を基礎として算定し

ました。

③木引税は過去五カ年の最高、

最低を除いた三カ年の平均に準

拠して算定しました。

④税収入は一〇〇%を目標にして最大の努力をつくしますが、

財政上から考えると不安があり

ます。

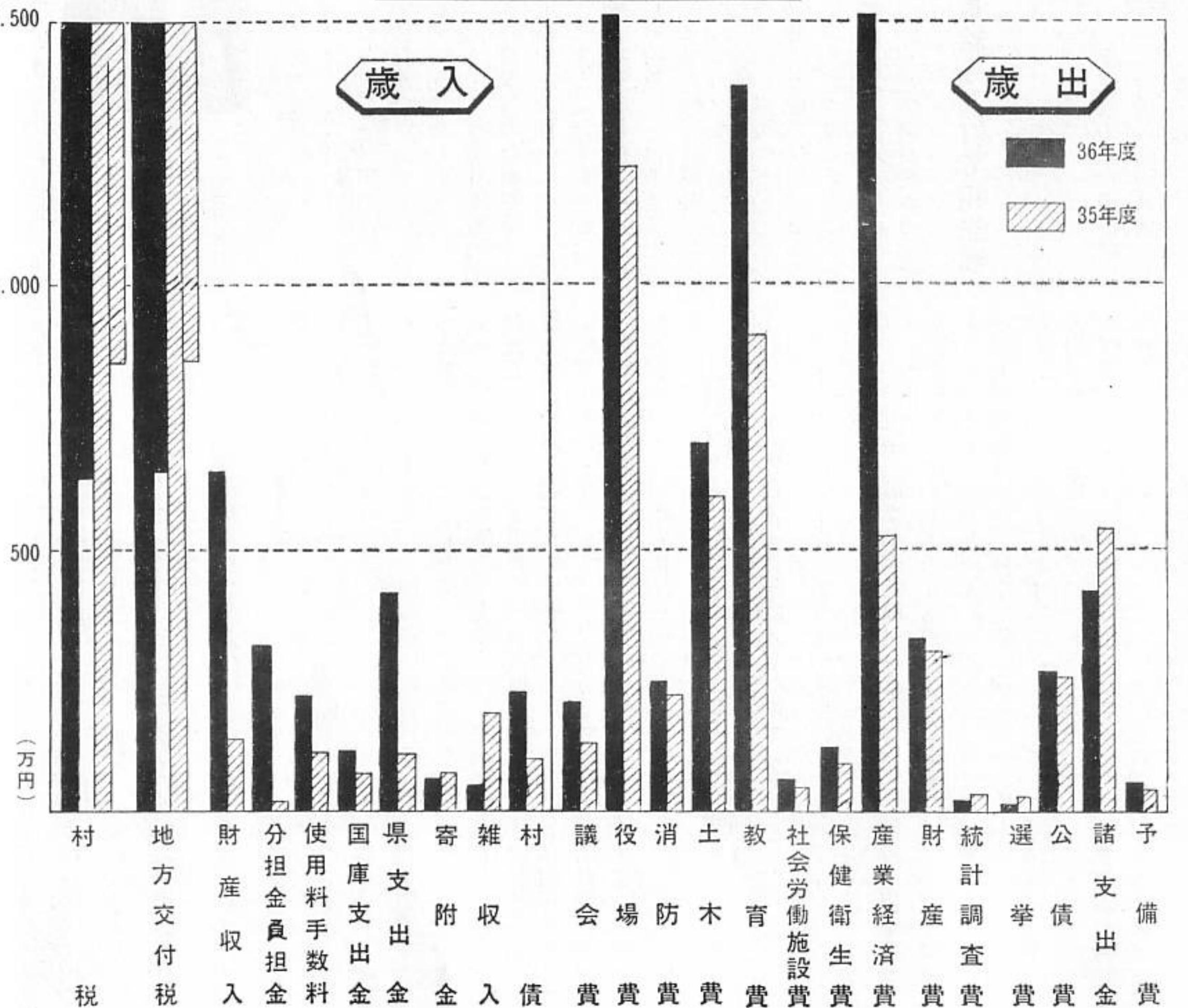
準用河川に杉森・袖山
二川を申請立ておりましたが、このほど蔵
立寺、泉秀寺、林沢寺の各住職(5面下段に続く)
と壇徒総代の方々のお出を願つ(4) 大曲、矢島、本村と関係市町村
長の間で協議することに話しあ
いを進めております。国道本荘・横手間の改良工事は
四月中に本荘市、横手市、平鹿
町、本村との間で話しあうこと
になつております。本村より郡
境まで十年計画(予定工事費二
億四、〇〇〇万円)でぜひ実現
をはかりたいと考えております

教育費は優先的に配分

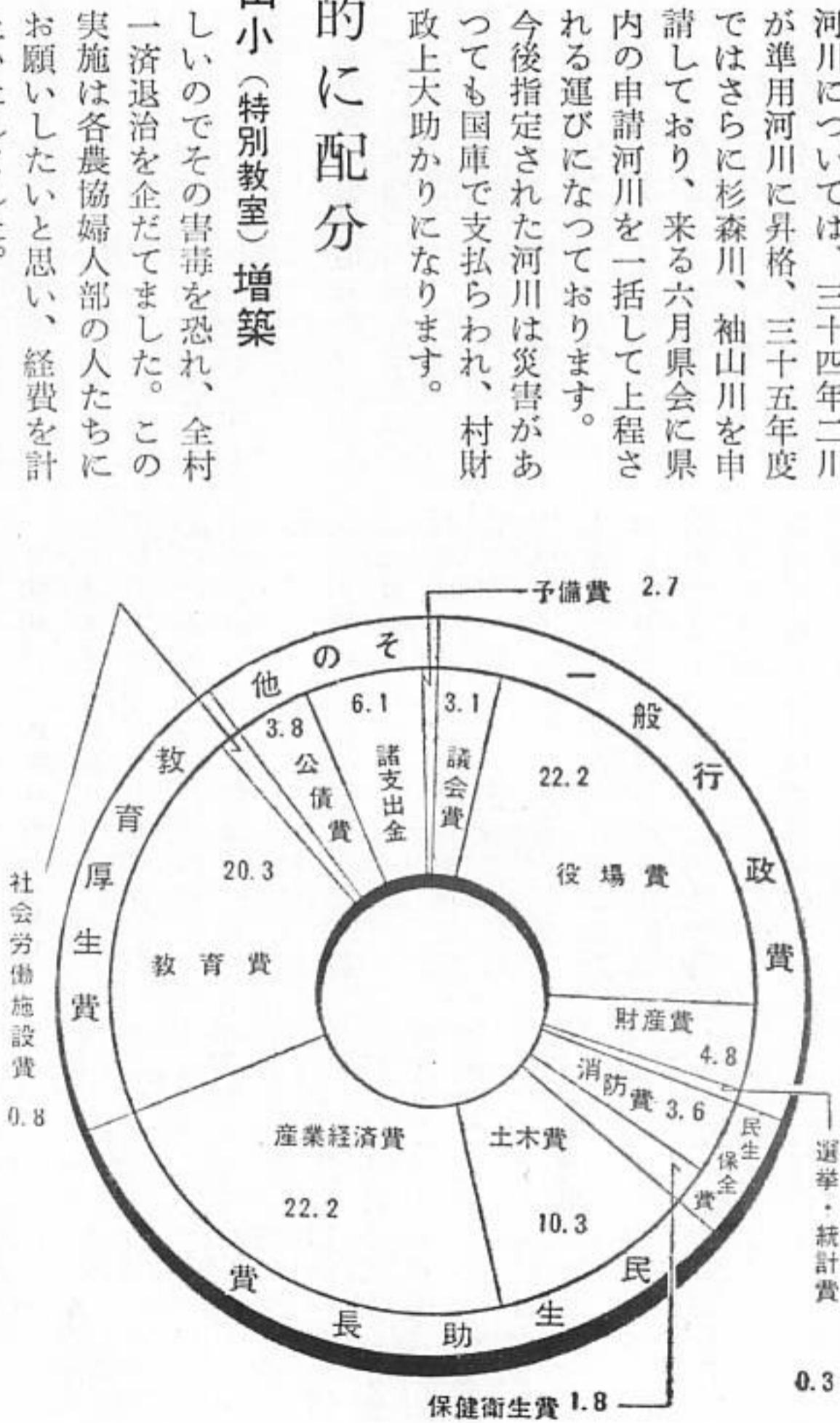
下中(普通教室) 袖山小(特別教室) 増築

教育費は教育委員会の
要望を優先的にとり入
れた心算であります。
教 下郷中学校は生徒自然
育 増のため増築しなければならな
いので国へ起債を願つておま
すし、村の財源にも力を入れて
おります。袖山小学校の特別教室、教員住
宅建築には玉米財産区の寄付をある考えであります。
また学校教材設備、校舎營繕など考慮して重点的に配分計上しま
学校設備補助事業も最大限にと
り入れております。永慶、みどり両保育園の幼年児
の教育は父兄の関心もたかまり
その内容もよくなつてきたこと
は両園長はじめ関係者の努力の
いたことは小松主任はじめ諸
先生の努力のたまものと、これ
また感謝しておるのであります。
卒業生諸氏の活躍のめざましい
ことも喜びにたえません。火葬場の設置も
いよいよ具体化伝染病隔離病舎は由利郡、本荘
市で一部組合をつくり、由利組
合病院の内に病棟を建て、健実
な実施の段階に入りました。
つぎにネズミの繁殖ははなはだ
保健衛生
衛生費では小児マヒ(急性灰白すい炎)予防
の経費を新しく考えて
みました。

36年度予算グラフ(前年度比較)



目的別歳出構造



河川については、三十四年二川
が準用河川に昇格、三十五年度
ではさらに杉森川、袖山川を申
請しております。来る六月県会に県
内の申請河川を一括して上程さ
れる運びになつております。
今後指定された河川は災害があ
つても国庫で支払われ、村財
政上大助かりになります。

河川についても、三十四年二川
が準用河川に昇格、三十五年度
ではさらに杉森川、袖山川を申
請しております。来る六月県会に県
内の申請河川を一括して上程さ
れる運びになつております。
今後指定された河川は災害があ
つても国庫で支払われ、村財
政上大助かりになります。

明日が期待される畜産・酪農

農業經營の高度成長へ第一歩

産業経済消費について申上げると村産業経済特報による新農村の確立へ第一歩をふみ出しておるわけでありますが、十年後の理想を考えがいて高度の成長をうち出し、昭和四十四年には農家一戸当たり七二万七〇〇〇円となる長期の基本計画をたてました。この理想像を画餅こせず、

各団体、村民全てが手をとりあつて真剣に考え、新しい村づくりにご協力願いたいものであります。特に明日の飛躍が期待される畜産と、酪農事業に重点を置き、草地改良事業を積極的に進めたいと考えであります。

県においても小畠知事をはじめ畜産課は挙げて本村の畜産事業を見守つてくれておりますので力強く感ずる次第であります。

乳牛のジャージーは現在三二〇頭となり、和牛は七〇〇頭、今や県下でも有数の生産地として台頭し、今秋までには山本村森岳、金岡地区よりジャージー仔牛一一〇頭の注文があり、これに追いつけないような現状であります。文字どおり嬉しい悲めいりであります。

一九五九年牛の生産においては、岸ハム会社の進出がかなえられると大変有利になります。日産二〇〇頭、月六〇〇頭、年間は実に七万二〇〇〇頭にのぼる牛馬、ブタなどの大中家畜は工場用に供されることになり、非常に明るい見とおしになります。一年の半分は雪の中で冬眠を余さなくされる自然の制約に運命づけられている私たち村民は、無限にちかい山野を開拓し、栄養価のたかい牧草をつくり、家畜を養っていくとの絶対的な運命の開拓も可能となり、若き青年も郷土の良さにホホ笑み、お年寄りも若さをとりもどし、夫婦の楽しみも増して、栄養豊富なことから強い子供も育つと

の進出

いう樂園地と化すことも夢ではないと考えておるのであります。次に村の耕地整理可能地七〇〇ヘクタールのさきがけとして行われた葎沢地区に引続き、今回老方の真木田地区が整理事業を行ふことになり、その設計費の半額を補助する考え方で計上しました。

新編和漢書

いう楽園地と作すことも夢ではないと考えておるのであります。次に村の耕地整理可能地七〇〇ヘクタールのさきがけとして行われた葎沢地区に引続き、今回老方の真木田地区が整理事業を行うことになり、その設計費の半額を補助する考え方で計上しました。

また法内六沢の老朽溜池改修工事であります。このワクに入れるためなかなか困難いたしましたが、同地区の受益者の熱心な努力と小畑知事の中央での活躍によりほぼ成功する、との朗報で喜んでおります。

この工事費はおよそ三〇〇万円で、この溜池が完成すれば法内部の安全はもとより、下流の人も一安心だと考え実現に努力中であります。

実施の段階

この工事費はおよそ三〇〇万円で、この溜池が完成すれば法内部の安全はもとより、下流の人も一安心だと考え実現に努力中であります。

報で喜んでおります。

農家の利益を守る家畜

市場を

な努力と小畠知事の中央での活躍によりほぼ成功する、との朗報で喜んでおります。

家畜市場を村で経営する問題は

二・三男対策に万全の措置

ほかに畜産振興と技術陣の強化は絶対に離すことのできない問題であり、生産基盤を強化する方途は遺憾のないようやつて心算であります。

若林地区のブラジル移民の跡地二五ヘクタールの平坦地は草地改良を行い、また一集団地五〇ヘクタールは放牧地にするため県補助を願つて完成したい考えであります。

また地下資源開発の調査のため若干の経費をみてあります。

新しい林野經營計画も

実施の段階

林業関係ではすでに基本構想もとづいて実施の段階に入り、着々成果を上げつつあります。本村は先に「公有林野利用改善の指定村」として計画を樹立し大いに飛躍しようとしているおりでもあり、その経費のねん出上、森林組合と離れ、村からの補助負担金を削るべく森林組合長に話しかけましたが、組合としてもまだ体質改善の準備が整わず、今年一ヵ年お互い準備期間として明年度より実施することになりました。

力全の措置 の解消 40 年まで

佐藤本荘市長と話しあつて本村と共に進行運びとなり、その分担金も計上しております。

梅津前村長から引継ぎました耕地災害の返還金に対し、本年度二〇万円の補てんのため計上しました。

今度本村の発展に貢献された方々の表彰規定を設けて永く功績をたたえたいと考えて、条例案の提出と予算化をはからいました。

ここ数年、産業構造の移りを反映して重要な問題となってきた二・三男対策として、海外移住あるいは就職、転業に対する体制はほぼ完璧を期しております。
(6面三段目に続く)

無雷火語落の角渕4年5月

ほかに畜産振興と技術陣の強化は絶対に離すことのできない問題であり、生産基盤を強化する方途は遺憾のないようやつて心算であります。

若林地区のブラジル移民の跡地二五ヘクタールの平坦地は草地改良を行い、また一集団地五〇ヘクタールは放牧地にするため県補助を願つて完成したい考えであります。

また地下資源開発の調査のため若干の経費をみてあります。

新しい林野經營計画も

実施の段階

林業関係ではすでに基本構想もとづいて実施の段階に入り、着々成果を上げつつあります。本村は先に「公有林野利用改善の指定村」として計画を樹立し大いに飛躍しようとしているおりでもあり、その経費のねん出上、森林組合と離れ、村からの補助負担金を削るべく森林組合長に話しかけましたが、組合としてもまだ体質改善の準備が整わず、今年一ヵ年お互い準備期間として明年度より実施することになりました。

力全の措置 の解消 40 年まで

佐藤本荘市長と話しあつて本村と共に進行運びとなり、その分担金も計上しております。

梅津前村長から引継ぎました耕地災害の返還金に対し、本年度二〇万円の補てんのため計上しました。

今度本村の発展に貢献された方々の表彰規定を設けて永く功績をたたえたいと考えて、条例案の提出と予算化をはからいました。

ここ数年、産業構造の移りを反映して重要な問題となってきた二・三男対策として、海外移住あるいは就職、転業に対する体制はほぼ完璧を期しております。
(6面三段目に続く)

官行造林の公団移行

秀寺境内の昔の火葬場跡地が適当であるとの構想で話しあいを進めております。具体的にはいずれご相談をお願いいたしますと双方話しあいがまとまつております。

これまでの嘱託技術員に対する補助金は村自体の技術員に充てる構想のもとに現在技術員を選んでおられます。

林道関係では高村林道は本年中完成したいと考えであります。善徳林道の木橋は腐朽し始めたので本年中、永久橋に架替えするため県と話しあい、大方成功しつつあります。

また本村農業の近代化、その他農業振興について重要事項を調査審議するため「村農業対策審議会」を置きたい考えで条例案及び予算を計上しております。

公有林野の造成管理条例

変った分収林の収益率

新しく入会林地も規定

第一回村議会定例会で本村の公有林野管理造成について新しく条例が制定された。

この条例は分収林の収益率が変わったこと、入会林地について新しく規定されたことなどが特色で、林野区分を(1)直営林地(2)分収林地(3)入会林地(4)原野採草地(5)貸付地(6)売却予定地の六つに分類し、それぞれ合理的に経営して基本財産の造成をはかつていこうとしている。

直営林地 村の基本財産を造成するため村直営で経営する。

分収林地 村の基本財産を造成するため、その収益を分収する。収益は部落では何にも頭に入らなかつた成向上のために使途する。

農業振興指定部落の黒沢ではこのほどガリ版刷りの作文集「くろさわ」を発行した。

私は作文を書こうと思つて紙やエンピツを出したら、子供達がわいわいさわぐので何にも頭に入らなかつた

部落民の公共福祉と民生の向上に、また団体ではその団体の育成向上のために使途する。

▽収益分収の割合は植栽されたすべての樹木が村 $\frac{2}{10}$ 、部落

農業振興指定部落の黒沢ではこのほどガリ版刷りの作文集「くろさわ」を発行した。

私は作文を書こうと思つて紙やエンピツを出したら、子供達がわいわいさわぐので何にも頭に入らなかつた

部落民の公共福祉と民生の向上に、また団体ではその団体の育成向上のために使途する。

▽収益分収の割合は植栽されたすべての樹木が村 $\frac{2}{10}$ 、部落

農業振興指定部落の黒沢ではこのほどガリ版刷りの作文集「くろさわ」を発行した。

私は作文を書こうと思つて紙やエンピツを出したら、子供達がわいわいさわぐので何にも頭に入らなかつた

部落民の公共福祉と民生の向上に、また団体ではその団体の育成向上のために使途する。

▽収益分収の割合は植栽されたすべての樹木が村 $\frac{2}{10}$ 、部落

農業振興指定部落の黒沢ではこのほどガリ版刷りの作文集「くろさわ」を発行した。

菊地(菊)・阿部(貞)両氏退職

菊地菊太郎氏

(五十六歳・館合)

阿部貞二氏

(四十四歳・十二ノ前)

村職員の菊地菊太郎・阿部貞二の両氏は三月三十一日をもつて退職された。

阿部貞二氏

(四十四歳・十二ノ前)

全国町村会長(昭三六同)よ

り表彰されている。

昨秋より価格上廻る
4月家畜市場の成績

佐藤昇氏(育委員)三月二十九日、口腔内悪性腫瘍のため東北大学附属病院で死去、三十八歳。

昭和二十七年旧玉米村教育委員に当選して三十年まで在職、ついで三十四年再び任命され、教育委員長の職も務められた。

また館合地区簡易水道の布設、みどり保育園の設置、経営に力をつくされるなど、多くの功労を残されている。

及び団体 $\frac{8}{10}$ 、その他自然に発生し成長した樹木などは、村 $\frac{4}{10}$ 、部落及び団体 $\frac{6}{10}$ とする。

入会林地 部落民の福祉昂揚のために設定するもので、これ

の管理造成は分収林と同じ保護管理を行う。

▽入会林は村長の許可を得て処分する。その収益の持分は全住民が相均しいもので、その収益の十分の〇・五は村に納付する

ために契約された条項による。設けて規約と代表者を定め、村長の承認を得る。

▽部落及び団体は分収林組合を設けて生産性を高め、合理的な経営をするよう努めなければならない。

例で牧野と定めたところ、ある

いは放牧地と定めたところ、また部落民が共同で立入り家畜の飼料及び堆肥、カヤ等を採取するところで、つねに良好な状態で管理して生産性を高め、合理的な経営をするよう努めなければならない。

例で牧野と定めたところ、ある

いは放牧地と定めたところ、また部落民が共同で立入り家畜の飼料及び堆肥、カヤ等を採取する

ところ、つねに良好な状態で管理して生産性を高め、合理的な経営をするよう努めなければならない。

例で牧野と定めたところ、ある

いは

本格的に乳牛の多頭飼育

1ヶタ農業へいどむ佐藤さん

いよいよ酪農も本格的に多頭飼育をとり入れ、七ヶタ農業を目指してがんばつている人がいる。それは高戸屋部落の佐藤八郎さんである。

佐藤さんが飼育しているジャージー牛は全部で七頭、このうち五頭は成牛で現在育成中のものと仔牛が各一頭である。一号牛は二産目を二月分娩して現在

一五キロ（八升）

さく乳、二号牛は二産目四月

下旬、三号牛も同じく二産目六月、四・五号牛はともに初産で

九月分娩の予定になっている。

飼料対策は牧草地六〇アール、

田畠転換の牧草地二〇アール、

飼料畑一五アール、その他本田

三〇アールに裏作するなど万全な態勢をつくり、サイロは四基設けられている。



農地相談室

【問】経営面積二町歩、山林が少々ありますが、共同相続によって経営が分散するのも困りますから、相続人に問題のおこらないように遺言しておきたいと思います。その方法はどうしたらよいのですか。

【答】遺言の仕方には普通の方式と特別の方式があり病気で死亡の危急に迫った者とか、遭難船舶の中で危急の場合などは簡略な特別の方式が認められます。一般に次の三つがあります。

- (1) 自筆証書遺言：これは遺言者がその全文、日付および氏名を自書し押印します。
- (2) 公正証書遺言：これは証人二人以上が立合の上、遺言者が遺言の趣旨を公証人に口授し、公証人が署名し、押印します。
- (3) 秘密証書遺言：これは遺言に特定の人に農地を一括して相続させるような場合には、各相続人に認められた遺留分を害さないよう気をつけなければなりません。

林野の火入れ 待つた

5月31日まで山火事警防期間

○さく乳、二号牛は二産目四月下旬、三号牛も同じく二産目六月、四・五号牛はともに初産で

九月分娩の予定になっている。

飼料対策は牧草地六〇アール、

田畠転換の牧草地二〇アール、

飼料畑一五アール、その他本田

三〇アールに裏作するなど万全な態勢をつくり、サイロは四基設けられている。

さく乳量を一頭当たり年間二八〇

キロ（一五石）目標に、現在の七頭が全部成牛になると五頭は當時さく乳できるので総乳量一万四〇〇キロ（七五石）そ

して粗収入は四五万円となる。

今年も山火事の危険な時期がやつてきた。营林署では四月十日から五月三十一日まで警防期間をしいて山火事の防止にあたっているが本村でも開墾などの特別な場合をのぞいて今年も公有、私有の別なく林野の火入れは禁止する方針をとっている。营林署ではこの警防期間にあたつて一般に次のことを呼びか

以上の方式がありますが遺言はないとになります。農地の配分について遺言を書く場合に、相続分の指定や遺産分割の方法について記すときは、農地法の問題はおこりませんが、贈与をしようとするとときは農地法三条の許可が必要です。また経営面積を分散させないために特定の人に農地を一括して相続させるような場合には、各相続人に認められた遺留分を害さないよう気をつけなければなりません。

者があの証書に署名し押印して要式行為ですから、これらのどちらの方法によらないと効力がありません。農地の配分について遺言を書く場合に、相続分の指定や遺産分割の方法について記すときは、農地法の問題はおこりませんが、贈与をしようとするとときは農地法三条の許可が必要です。また経営面積を分散させないために特定の人に農地を一括して相続させるような場合には、各相続人に認められた遺留分を害さないよう気をつけなければなりません。

証書を封じ印章で封印します。そして公証人一人、証人二人以上に自己の遺言であることを確認してもらい、その署名押印をうけます。



二着目の花嫁衣しよう

大琴農協婦人部では三十四年の

春、花嫁衣しようを共同購入して結婚式改善に一役果して

きたが、みんなの理解で文字どおり押すな、押すなりと

利用者が殺到、このためせつかくの衣しようも中古（？）となつては着用する花嫁が可愛いそうと、このほど二着目を新調した。新調して一ヶ月ぐらいのうち、すでに四度も利用されたという。

【写真は大琴農協婦人部で購入した新しい花嫁衣しよう】

村内農協の総会日取り
役場から

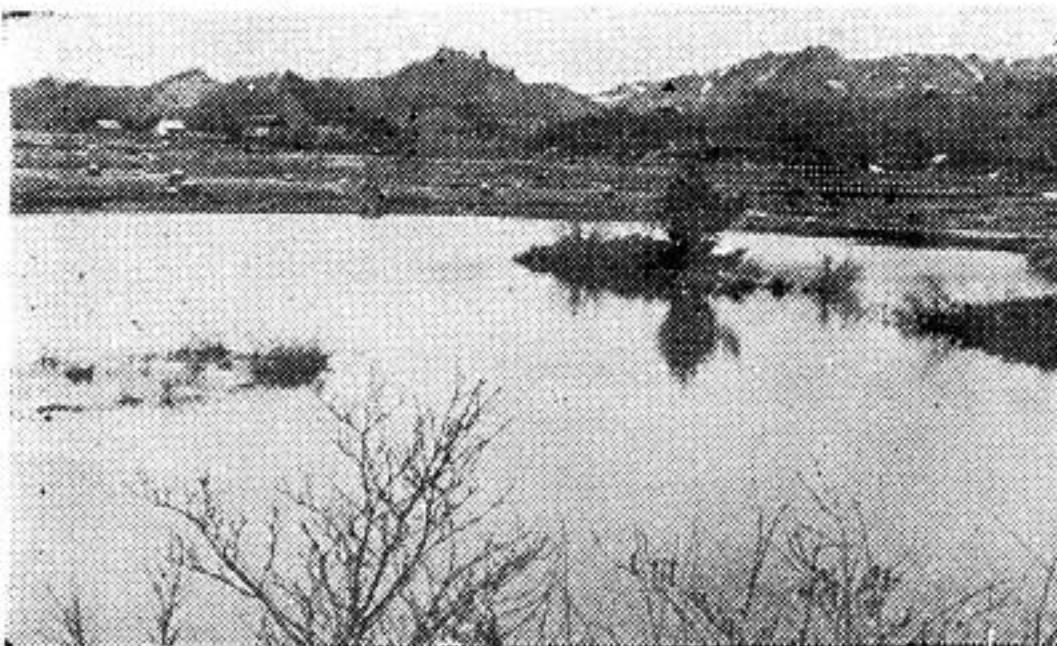
▽玉米 4月26日午前9時より

建設の譜

建設の譜

建設の譜

- ⑤国有・官行造林地の隣接地の火入れは村長の許可のほか营林署長の承認を受け、職員の立合と指示を受けなければならぬ
- ▽同仁太郎橋架替工事発注
- 久橋台
- ▽法内線谷地橋永久橋架替工事
- 延長二九M
- ▽祝沢線浮蓋橋永久橋架替工事
- 発注
- ▽茂沢線茂沢地内練
- ンクリート擁壁護岸工事
- 工事発注（延長二二M）
- ▽笹倉林道走出地内土羽工事
- 発注（延長一〇M）
- ▽同巾野地内コンクリート擁壁工事発注（延長八M）



3月25日の西山田圃

大琴西部增産班では本村ではじめてのビニールハウスを共同で設置した。

このハウスは巾三メートル、長さ一メートルの電熱による育苗方式で中は立つたまゝ自由に作業ができる。またこれを二回使用することによつて三〇ヘクタール分の育苗が可能とされている。資材費は約一〇万円であるが、鉄柱は半永久的であるしビニールは三年ほど使用できるので今後資材に要する経費は少なくてすむことになる。

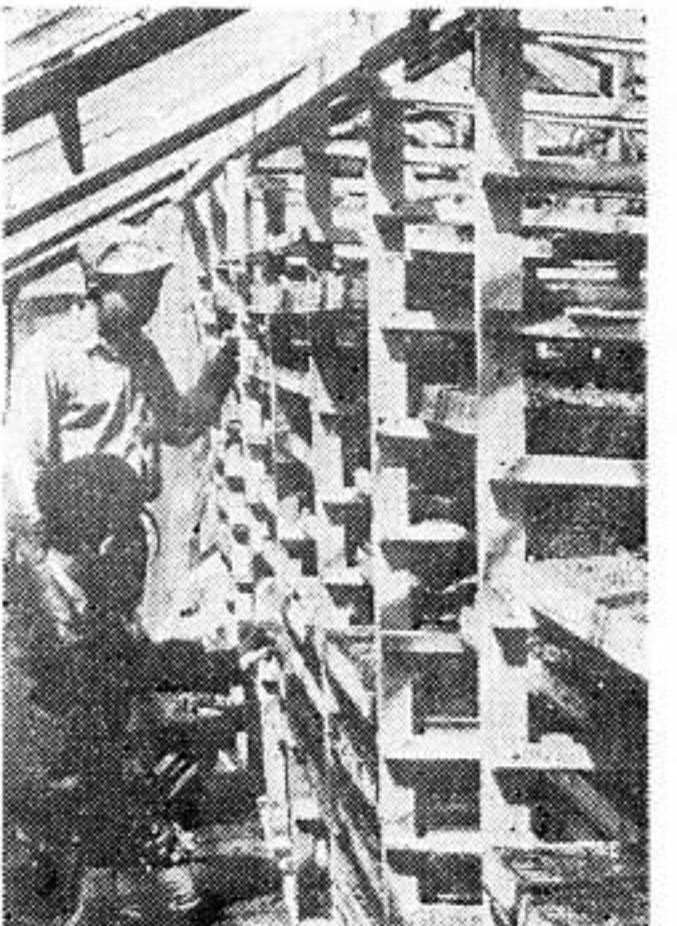
なにより苗代初期の障害を防いで健苗を確保し、さらに早期栽培のため作業を早めるなどこれから農業にはくてはならないもの。しかもこれによつて経営の共同化へ一步近づいたことは大きな収穫といえよう。

【下写真は大琴西部增産班のビニールハウス】

はじめてのビニールハウス

大琴西部增産班で共同設置

【ビニールハウスの内部】



便利になつたバス

本荘・横手間急行も運行

この四月十五日から羽後バスの時刻表が改正され、新しく運行されることになつた急行をふくめて本荘・横手間一往復、本荘黒淵間一往復とそれぞれ増発、さらに本荘・大琴間二往復も新

むかし、長者がおりました。長者は酒屋も営んでおりましたので、男や女の召使いも沢山おりました。ある年の土用の丑(うし)の日でした、前年の秋にでき上つたばかりの堤に長者は家人や

召使いたちを連れて泳ぎに行きました。土用ですから大変暑くみんなは我先きと泳ぎまわましたが、長者が召使つてゐる扇子(せんこつ)という女中だけは水に入ろ

と恐ろしいことを思いついたので岸に上り、酒盛りを始めました。酒がまわつてにぎやかになつた頃のみはからい、長者

と一同しませんでした。

扇子は、実は長者との間で身重になつてゐたのでした。長者はこのことが世間の人々の口にのぼることが心配でなんとかしなければと考えておつたのですがこの扇子の様子をみていて、ふ

ぱい咲き乱れている白百合を指さし、泳いで行つて花をとつてくるように言いつけました。

新しい秋田県体育指導委員に本村では今野儀工門・熊谷侃・佐々木正輝の三氏が委嘱された。なお任期は二年である。

【上写真は扇子堤】

一粒・千粒

いま農家では春のおくれを取りもどすべく、一家総出で苗代作業に精を出している。

一粒・千粒の祈りをこめて、連續豊作7年目へスタートをきつた。

【写真は西山田圃で】



農業振興資金の借受

希望者・25日まで

昭和三十五年度から発足した「県農業振興資金通制度」にもとづく農業振興資金の融資は今

年も行われる。

これは農業者団体に対して農業の共同化に要する事業資金を融通するとともに必要な指導を行つて農家経済を健全に発展させようとするものである。

貸付金額の最高限度は三〇〇万円まで、利

率は年六分で償還期間は

据置をふくめ

て五年以内となつて

いる。

第一次申込みのしめ切りは

▽4月26日(10~12時)大琴農協前▽同(13~15時)蔵定時制高校前▽4月27日(9~30)11時(30分)住吉小学校前▽同(13~15時)玉米農協前▽4月28日(9~11時)役場前

28日・森林組合の総代会

村森林組合では三十五年度の通常総会を4月二十八日午前十時から役場で開催する。

体育指導委員委嘱

新しい秋田県体育指導委員に本村では今野儀工門・熊谷侃・佐々木正輝の三氏が委嘱された。なお任期は二年である。

ぱい咲き乱れている白百合を指さし、泳いで行つて花をとつてくるように言いつけました。

長者の言いつけですから仕方ありません。扇子は覺悟をきめて涙をこらえ、水に飛びこみました。一生けん命泳ぎましたが、もとより向う岸に泳ぎつくことはできませんでした。

とうとう力がつきた扇

子はそのまま水の底に沈んでしまいました。この可愛いそうな出来ごとがあつてから、人々はここを扇子堤と呼ぶようになりました。この堤は今も台山馬験場の下にあります。

○四月二十四日から七日間を清掃週間として、最後の三十日にそれぞれ部落が主体になつて検査を行う。

○家の内外の清掃の徹底、カ・ハエなど衛生害虫の発生源除去、地域社会全体の清掃に重点をおく。

4月30日・春の大掃除デー

四月二十五日で期日が迫つてい

るため希望者は至急、所属の農

協へ相談して申込されること。